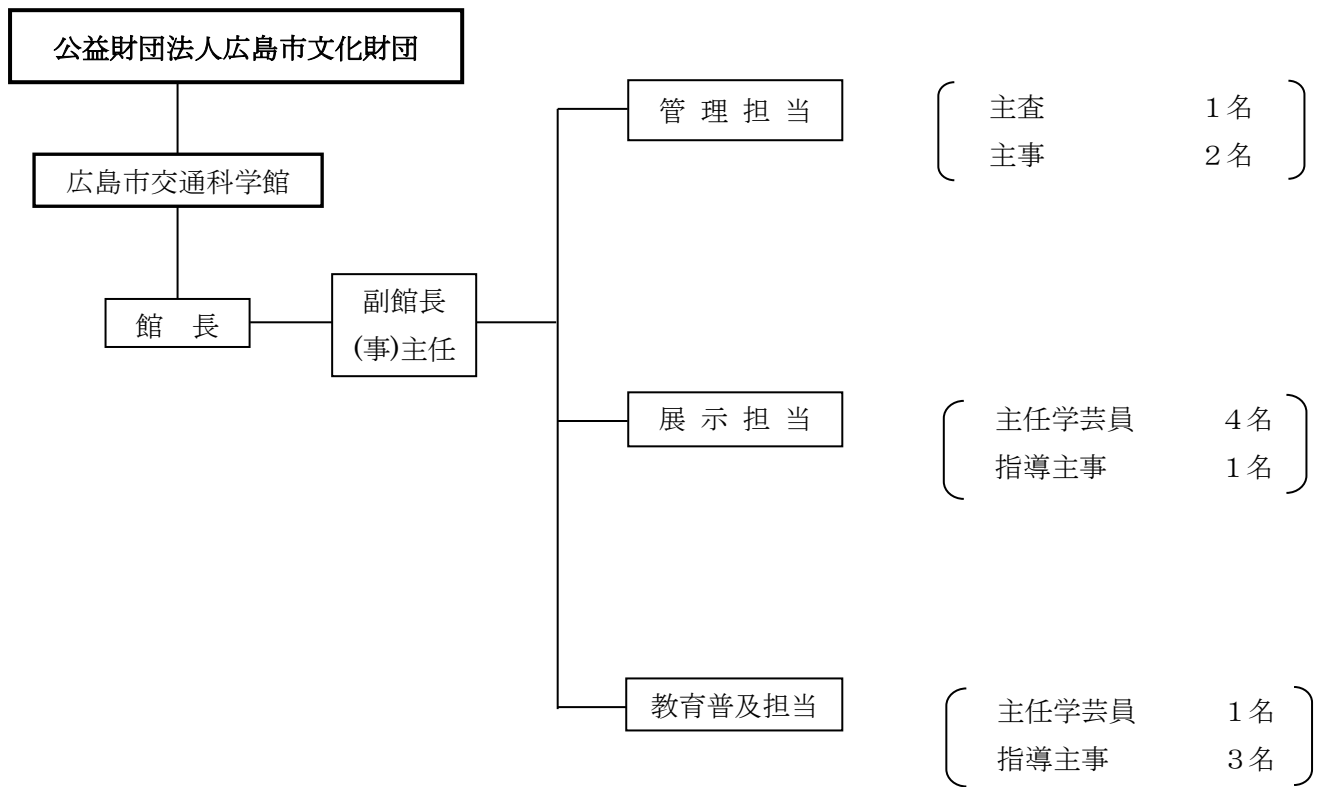


組織及び職員数

令和3年4月1日現在



計14名

1. 展示事業

●令和3年度 展示事業 実績報告

I 常設展示

(1) 世界の乗り物

当館では、航空機・船舶・鉄道・自動車の各分野における技術の発達を伝える乗り物模型2,000点以上を所蔵しており、その一部を分野別に展示しています。これら乗り物にかかわる情報は、当館独自の乗り物模型データベース「ハイパーブックWEB」で調べることができるようになっています。

(2) ハイパーブック

乗り物の発達に関する物語や、それぞれの乗り物の特徴などの情報について、ピークル博士の案内で絵本を読むように楽しく、また百科事典をひもとくように詳しく調べることができます。令和3年3月からは、館内各所に設置された端末はもちろん、スマホやタブレットからも利用できる「ハイパーブックWEB」に進化しました。

(3) シティランナー

正面の画面に現れる街（ピークルシティ）に入り込み、自転車で散策するように、また電車を運転するような感覚でその中を仮想移動体験できます。

(4) エポックシーン

ライト兄弟が初めて動力飛行した日の感動的なシーンやベンツの三輪車が走行する様子など、乗り物に関連した歴史的な4場面をミニジオラマでドラマティックに表現しています。カプセルの窓から中をのぞき込むような形で、各乗り物の名場面を見ることができます。

(5) ビークルシティ

日本最大級・直径20mの巨大な近未来交通パノラマ模型です。「空港」「オフィス」「文化・アミューズメント」「住居・学校」「シティリゾート」「生産・物流」の6つのエリアと、これらをむすぶ乗り物・交通のシステムを模型で構成しています。音楽や照明を使って、いきいきとした活気あふれるピークルシティの朝・昼・夜の一日を表現しており、人々の暮らしと乗り物が毎日の生活の中でどのように関わっているかを見ることができます。

(6) シティガイド

近未来巨大交通パノラマ「ピークルシティ」で使われている乗り物や交通の仕組みやシステムを、エリアごとに情報検索できる情報端末装置です。

(7) ビューカプセル

ピークルシティを見下ろすように設置された青・緑・赤・黄の4色の特殊映像カプセルで、青・緑色のカプセル内では、映像と音響によりピークルシティの中で繰り広げられるさまざまな物語をダイナミックなコンピュータ映像で体験できます。また赤・黄色のカプセルでは、ピークル博士のおもしろくてためになる乗り物のお話を視聴することができます。

II 企画展示など

(1) 春季企画展「はたらくのりもの大集合！救難飛行艇US-2」（令和2年度からの継続事業）

ア 期 間：令和3年4月1日（木）～5月5日（祝・水）（うち開館日31日）

イ 開催場所：2階 特別展示室他

ウ 観覧者数：22,920人（入館者総数）

エ 展示内容：海上自衛隊の救難専用飛行艇US-2をテーマに、世界随一の性能を誇る機体や国産飛行艇のあゆみ、US-2による救難活動の様子などを、エンジンやフロート・救助ボートなどの実物資料を中心に、大型模型や映像展示など交えて紹介しました。

【主な展示品】

実物資料：フロート(US-1A), プロペラ(US-1A), T64型エンジン, 専用タイヤ(US-2), 計器(PS-1)

迎え角・滑り角発信機(PS-1), PX-S 開発用風洞模型, 救助用ゴムボートなど

模 型：US-2(1/20), PX-S (1/24), US-2(1/48), US-1A(1/50), UF-XS(1/50), 二式飛行艇(1/50) など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
陸上自衛隊第13音楽隊ミニコンサート	2	370	1階 エントランスホール
US-2の缶バッジを作ろう	3	190	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室「紙コップUS-2」(1日2回)	6	232	〃
ちびっこ教室「牛乳パックUS-2」(1日2回)	2	52	〃
ちびっこ教室「US-2の四面パズル」(1日2回)	4	122	〃



(2) 夏季企画展「世界を駆ける！—サーキットで戦う日本のオートバイ—」

ア 期 間：令和3年7月16日（金）～8月3日（火）（うち開館日16日）

※当初は令和3年8月29日（日）まで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時閉館のため、期間が短縮となりました。

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：11,728人（入館者総数）

エ 展示内容：1960年代から現代まで、技術・シェア両面で世界をけん引する日本製オートバイの歴史と進歩を、国内オートバイメーカー各社の歴史的なレーシングマシンなど20台の実車を中心に、パネルや映像等をまじえて紹介しました。

【主な展示車両】

ホンダ RC181(1967年)、ヤマハ RD05A(1968年)、カワサキ KR250(1979年)、ホンダ NR500(1981年)、スズキ RGΓ500(1981年)、ホンダ NSR500(1997年)、ホンダ RC211V(2002年)、スズキ GSV-R(2011年)、ヤマハ YZM-R1用エンジン(2017年)、カワサキ ZX-10RRWSBK(2020年) など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
あそびのひろば「ラジコンバイク体験」	4	306	1階 多目的ホール
ちびっこ教室「ちびっこオートバイ」	3	118	1階 クラフトルーム



(3) 秋季企画展「アートな乗り物」

ア 期 間：令和3年10月7日（木）～11月28日（日）（うち開館日44日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：38,597人（入館者総数）

エ 展示内容：乗り物の機能を表現し、見る人の心を引く重要な要素である乗り物デザイン。近年は、工業製品の枠を超えてファッションや趣味、センスを表現する手段としてアートのレベルまで発展を遂げています。そんな様々な「アートな乗り物」を、実車や模型、写真等で紹介しました。

【主な展示品】

マツダ 魁 (かい) CONCEPT/魂動オブジェ/ルーチェロータリークーペ, モリタ タービン式消火装置 AIRCORE, 三松拓真 ぼよっち/ネコベンツ, 平和モーターサイクル DIRTY PIGEON TRIUMPH/ADRIAN BMW R75, ヤマハ発動機 02 GEN(電動アシスト車いすデザインコンセプトモデル), 東京大学 POIMO など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
ちびっこ教室 「アートなプラバンストラップ」(1日3回)	3	120	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室 「アートなオリジナルマイカー」(1日3回)	6	213	〃
ちびっこ教室 「アートなオリジナルバス」(1日3回)	6	224	〃
ちびっこ教室 「アートな紙コップカー」(1日3回)	3	133	〃



(4) 春季企画展「それいけ！レスキュー隊」(4年度への継続事業)

ア 期 間：令和4年3月8日(火)～3月31日(木) (うち開館日20日)

※当初は令和4年3月4日(金)から開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館のため、期間が短縮となりました。

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：18,590人(入館者総数)

エ 展示内容：平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨をはじめ、全国各地で大規模な自然災害の頻度が高まり、これに比例して災害救助活動の重要性と関心が高まっています。本展では、災害救助活動の最前線で活動する各機関と資機材等を、実車や模型、実験装置などを交えて紹介しました。

【主な展示品】

実物資料：広島市消防局 ミニ消防車ありんこ1号・ありんこ2号・救助服一式防火衣一式
 海上保安庁 ウェットスーツ一式, サポートマーケティングサービス 水陸両用車ARGO など
 模 型：消防ヘリコプター ひろしま, 巡視船 たかつき, モリタ スーパージャイロラダー など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場所
消防車がやってくる！	1	1,652	屋外広場
ちびっこ教室「それいけ！消防車」(1日3回)	3	107	1階 クラフトルーム
ちびっこ教室「ペーパーパトカー」(1日3回)	3	99	〃



(5) ビークルギャラリー

① 「ヨーロッパ高速列車の旅リターンズ」

ア 期 間：①令和3年6月22日(火)～6月27日(日) (うち開館日6日)

②令和3年12月14日(火)～令和4年1月8日(土) (うち開館日18日)

イ 開催場所：2階 特別展示室ほか

ウ 観覧者数：9,133人

エ 展示内容：ヨーロッパ各国の高速列車を、大判写真パネルを中心に展示・解説し、日本のものとは異なる列車の魅力を紹介する。※開催期間が短縮された令和2年度ビークルギャラリー「ヨーロッパ高速列車の旅」を再構成して展示

② 「レアな標識集めました」

ア 期 間：令和3年12月14日（火）～
令和4年1月8日（土）
（うち開館日18日）

イ 開催場所：2階常設展示室など

ウ 観覧者数：8, 269人

エ 展示内容：全国各地の珍しい交通標識約80点や、
標識の製造過程・技術的特徴について
紹介するとともに、基本的な標識や交
通ルールを解説しました。



Ⅲ その他

(1) 被爆電車車内公開

ア 時 期：毎月第3土曜日など（1日2回）
計12回

イ 開催場所：屋外広場

ウ 参加者数：1, 617人

エ 実施内容：被爆しながらも戦後も長く活躍した広
島電鉄650形路面電車（654号）
の車内を一般公開しました。



(2) 日本自動車連盟（JAF）広島支部との連携事業

ア 時 期：毎月第4土曜日など（1日2回）
計12回

イ 開催場所：1階多目的ホールほか

ウ 参加者数：1, 193人

エ 実施内容：

① ドライバーズビジョン（視機能診断機）体験

自動車の安全運転に必要な「速度予測」と「判
断力・視野の広さと反応」の2つの能力を診断。

② こども安全免許証プレゼント

交通安全クイズ回答者に顔写真入りのカードを
提供。

③ ちびっこ運転体験

屋内特設コースをペダルカーで走行し、交通
ルールを楽しみながら学習。



2. 教育普及事業

●令和3年度 教育普及事業 実績報告

交通科学館では開館以来、工作教室やサイエンスショー、ビデオ上映会などを通して、乗り物や交通に対する興味・関心を喚起し、知的好奇心を満たしていく事業を実施してきました。令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため運営方法等に十分配慮しつつ、市民の参加機会をできる限り確保できるよう事業を実施しました。

(1) 教室事業

ア ちびっこ教室 ●実施日数 30日(82回) 参加者数 2,786人

主に日曜日や祝日に、幼児から小学校1・2年生児童を対象として実施している入門編の工作教室です。色を塗る・はさみを使うといった工作の基本を重視したカリキュラムで、作る楽しさや工作物を完成させる面白さを経験できる工作教室を実施しました。

また、シーズンイベントとしてクリスマスに少し贅沢な材料を使用した「ちびっこ教室プレミアム スノードーム(びん詰め液体の中を、きらきらしたラメが漂う室内装飾品)」づくりを開催し好評を博しました。



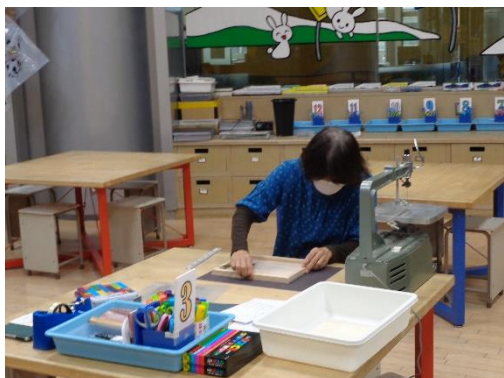
イ 小学生工作教室 ●実施日数 8日(9回) 参加者数 256人

小学生対象の、主にモーターなどを使って「動くもの」を作る工作教室です。教員経験者や元技術者など工作に明るい講師を招聘し、磁石やペットボトル・牛乳パックといった身近な素材を上手に使用した工作を実施しました。



ウ 大人の工作教室 ●実施日数 2日(2回) 参加者数 14人

大人を対象とした工作教室で、木工を中心に実施しています。



エ 乗り物テクノ教室 ●実施日数 1日(1回) 参加者数 12人

小学校5・6年生から中学生を対象として、より高度なテーマを工作や実習を通して学ぶ教室です。コロナ禍のため本年度は1回のみの実施となりました。



(2) 工作教室以外の事業

ア ビークルシアター ●実施日数 15日(50回) 参加者数 1,518人

主に新幹線やはたらく車など、乗り物や交通に関するこども向けのDVDを中心に上映しました。



イ サイエンスショー ●実施日数 12日(36回) 参加者数 1,429人

乗り物の動く仕組みや原理を楽しく・わかりやすく解説し、科学を身近なものと感じてもらえる科学実験ショーを実施しました。



ウ あそびのひろば ラジコン体験 ●実施日数 10日(22回) 参加者数1,622人

こどもがラジコンを自由に操作することを通して、運転操作や工作などに関心を持てるような事業を開催しました。



エ ビークルお楽しみステージ ●実施日数 2日(4回) 参加者数176人

消防音楽隊の演奏会や人形劇、地元ヒーローショーなどを企画・実施し、交通安全をはじめ、防火・防犯などの啓発を行いました。



オ 乗り物セミナー ●実施日数 1日(1回) 参加者数15人

お子様向けにスライドやビデオを使用した交通安全セミナーを開催しました。



カ 外部連携事業 ●実施日数 1日（1回） 参加者数 685人

マツダ株式会社の技術部門および広島市道路交通局との共催により、交通安全に資する様々な技術を体験できる「交通安全チャレンジフェスタ」を開催しました。



キ 学校団体受け入れ事業 ●利用校数 14校数 利用者数 624人

遠足や校外学習などで来館した学校団体を対象に、工作教室やサイエンスショー、被爆電車の車内公開などを実施しました。



ク 講師派遣 ●派遣回数 9回 ※参加者数 238人

公共施設等が開催する講演会・工作教室に講師を派遣しました。

ケ ライブラリー運営 ●利用者数 9,110人

乗り物や交通に関する書籍や雑誌の閲覧および複写サービスを行っています。また、ビデオブースでは、いろいろな交通や乗り物のビデオを視聴することができます。



3. 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 臨時休館

- ア 令和3年5月8日(土)～6月20日(日)
※6月21日(月)は通常の休館日のため、6月22日より開館
※イベントは7月11日(日)まで中止継続
- イ 令和3年8月4日(水)～9月30日(木)
※イベントは10月14日(日)まで中止継続
- ウ 令和4年1月9日(日)～3月6日(日)
※3月7日(月)は通常の休館日のため、3月8日より開館

(2) 影響を受けたおもな事業

- ア 夏季企画展「世界を駆けろ！—サーキットで戦う日本のオートバイ—」
・開催期間変更
当初予定：令和3年7月16日(金)～8月29日(日)
変更後：令和3年7月16日(金)～8月3日(火)
- イ 春季企画展「それいけ！レスキュー隊」
・開催期間変更
当初予定：令和4年3月4日(水)～令和4年5月8日(日)
変更後：令和4年3月8日(火)～令和4年5月8日(日)
- ウ ビークルギャラリー「レアな標識あつめました」
・開催期間変更
当初予定：令和3年12月14日(火)～令和4年2月13日(日)
変更後：令和3年12月14日(火)～令和4年1月8日(土)
- エ ビークルギャラリー「ヨーロッパ高速列車の旅リターンズ」
・開催期間が短縮された令和2年度ビークルギャラリー「ヨーロッパ高速列車の旅」を再構成して展示
・開催期間変更
当初予定：令和3年5月25日(火)～6月27日(日)
令和3年12月14日(火)～令和4年2月13日(日)
変更後：令和3年6月22日(火)～6月27日(日)
令和3年12月14日(火)～令和4年1月8日(土)
- オ 中止となったその他の展示担当事業

事業名	中止日数(回数)
被爆電車車内公開	7日(14回)
ちびっこ運転体験	2日(4回)
ドライバーズビジョン体験	3日(6回)
子ども安全免許証プレゼント	1日(2回)

カ 影響を受けた教育普及事業

事業名	影響を受けた内容
ちびっこ教室	中止日数：31日 定員の制限： ・ 時間内随時入場を2回定時入れ替え制とした ・ 1テーブルを1組に限定した（最大12組）
小学生工作教室	中止日数：13日
大人の工作教室	中止日数：1日
乗り物テクノ教室	中止日数：2日
乗り物セミナー	中止日数：1日
あそびのひろば	中止日数：8日
サイエンスショー	中止日数：13日
ビークルお楽しみステージ	中止日数：3日
ビークルシアター	中止日数：18日
ウィンターフェスティバル	中止日数：2日 ※お楽しみステージを1日のみ実施した →お楽しみステージに含めて報告
春まつり	密を避けるため春まつりとして広報せず、個別の事業として実施した
ビークルパーク	中止日数：6日
外部連携事業	中止日数：1日